# SNAでのSNMPポーリングおよび不適切なイン ターフェイスの詳細のトラブルシューティング

内容
<u>はじめに</u>
前提条件
<u>要件</u>
<u>使用するコンポーネント</u>
<u>コンフィギュレーション</u>
<u>背景説明</u>
<u>トラブルシューティング</u>
<u>誤ったインターフェイス名</u>
<u>エクスポータまたはインターフェイスが見つからない</u>
<u>接続性の問題</u>
<u>エクスポータをポーリングするマネージャ(SMC)の機能を検証</u>
<u>エクスポータのIPアドレスを使用して、SMCでパケットキャプチャを生成します。</u>
<u>SNMPポーリング設定の検証</u>
<u>SNMPポーリングのライブトラブルシューティング</u>
<u>別のデバイスからのSNMPポーリングのテスト</u>
<u>関連情報</u>

## はじめに

このドキュメントでは、Secure Network Analyticsでエクスポータインターフェイス情報が欠落している場合のトラブルシューティング方法について説明します

## 前提条件

- Ciscoでは、基本的なSimple Network Management Protocol(SNMP)のポーリングに関する 知識があることを推奨しています
- Secure Network Analytics(SNA/StealthWatch)に関する基本的な知識があることが推奨されます

### 要件

- ・ バージョン7.4.1以降のSNA Manager
- ・ バージョン7.4.1以降のSNA Flow Collector
- SNAにNetFlowをアクティブに送信しているエクスポータ

#### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。稼働中のネットワークで作業を行う場合は、コマンドの影響について十分に理解したうえで 作業してください

- バージョン7.4.1以降のSNA Manager
- ・ バージョン7.4.1以降のSNA Flow Collector
- SNMPwalkソフトウェア
- Wiresharkソフトウェア

#### コンフィギュレーション

- デバイス設定:SNMPアクセスを許可するようにエクスポータを設定する必要があります。 これには、SNMPコミュニティストリング、アクセスコントロールリスト(ACL)の設定、使用するSNMPバージョンの定義など、各デバイスでのSNMP設定の設定が含まれます
- SNAでのSNMPポーリング設定:エクスポータが正しく設定されると、SMCでは事前に設定されたパラメータを使用してSNMPポーリングがデフォルトで有効になります。ポーリングメカニズムが最適に動作するためには、SNMPコミュニティストリングやSNMPバージョンなど、エクスポータに関する必要な詳細情報を提供することが重要です

#### 背景説明

SNAは、インターフェイスステータスレポートを包括的に提供する機能と、NetFlowデータをフ ローコレクタにアクティブに送信しているエクスポータのインターフェイス名を表示する機能を 備えています。 このインターフェイスの詳細は、Manager Web UIからInvestigate -> Interfacesメニューに移動して表示できます。

Interface Status (Since Reset Hour)

	INTERFACE	EXPORTER		CURRENT UTILIZATI	ON	CURRENT TRAFFIC	MAXIMUM UTILI2	ZATION	MAX TRAFFIC	DIRECTION	SPEED
	GigabitEthernet1 ····				0.01%	66.59 Kbps		0.18%	1.78 Mbps	INBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet1 ····				0%	27.96 Kbps		0.29%	2.9 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
٠	GigabitEthernet2 ····			I 1	4.31%	43.13 Mbps		12.22%	122.23 Mbps	INBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet2 ····				0%	30.51 Kbps		0.02%	154.43 Kbps	OUTBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet3 ···		•••	I	0.01%	110.63 Kbps		0.29%	2.93 Mbps	INBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet3 ····				0.01%	56.49 Kbps		0.04%	396.24 Kbps	OUTBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet4		•••		0%	3.52 Kbps		0.06%	594.94 Kbps	INBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet4 ····				0.01%	70.79 Kbps		0.18%	1.8 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
	GigabitEthernet5 ····			1	0%	346 bps		0%	2.82 Kbps	INBOUND	1 Gbps

### トラブルシューティング

誤ったインターフェイス名

生成されたレポートで「ifindex-#」が表示される場合、これはエクスポータインターフェイスに 対応していません。これは、SMCまたはエクスポータインターフェイス自体でのSNMPポーリン グに関する潜在的な設定の問題を示唆しています。 この例では、特定のエクスポータの SNMPポーリングに関する明らかな問題を取り上げています。

Interf	faces (152)									
Filter b	y Device									
Inter	face Status (Since Reset H	lour)								
	INTERFACE	EXPORTER	CURRENT UTILIZATION	v v	CURRENT TRAFFIC	MAXIMUM UTILIZAT	ION	MAX TRAFFIC	DIRECTION	SPEED
•	ifindex-5 ····	10-00-00-00 mm		90.93%	909.27 Mbps	_	162.76%	1.63 Gbps	INBOUND	1 Gbps
-	ifindex-8 ····	10.000 million	b a	85.71%	857.08 Mbps		85.71%	857.08 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
-	ifindex-26 ····	10.00 at 10.	D -	85.71%	857.08 Mbps	1	85.71%	857.08 Mbps	INBOUND	1 Gbps
→	ifindex-3 ····	10000000	- D	80.46%	804.6 Mbps		82.07%	820.69 Mbps	INBOUND	1 Gbps
-	ifindex-25 ····	1000-00	10	79.06%	790.63 Mbps		80.29%	802.94 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
->	ifindex-16 ····	10.0001/08	- D	79.06%	790.63 Mbps	1	80.29%	802.94 Mbps	INBOUND	1 Gbps
-	ifindex-13 ····	104041248		53.29%	532.87 Mbps	_	94.85%	948.5 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
⇒l	ifindex-24 ····	10-00-00 million		53.29%	532.87 Mbps	_	94.85%	948.5 Mbps	INBOUND	1 Gbps
•	ifindex-0 ····	THE OWNER AND A TAXABLE PARTY.		0.43%	4.29 Mbps	L 1	2.58%	25.84 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
	TenGigabitEthemet1/0/38 ····	CONTRACTOR OF A		0.32%	3.17 Mbps	(	0.98%	9.77 Mbps	INBOUND	1 Gbps
	ifindex-0 ····	100000000000000000000000000000000000000		0.13%	1.28 Mbps	(	0.37%	3.66 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
•	ifindex-0 ····	1011-08-08-2		0.12%	1.18 Mbps	L	2.77%	27.74 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
•	GigabitEthernet1/0/1	192.168.99.4		0.1%	1 Mbps		0.32%	3.19 Mbps	INBOUND	1 Gbps
•	ifindex-0 ····	192.168.99.2		0.06%	573.21 Kbps		1.29%	12.92 Mbps	OUTBOUND	1 Gbps
•	TenGigabitEthernet1/0/1 ····	192.168.99.5 ····		0.05%	531.31 Kbps		0.29%	2.86 Mbps	INBOUND	1 Gbps
•	TenGigabitEthernet1/0/37 ····	192.168.99.1 ···		0.05%	503.01 Kbps	L 1	2.02%	20.15 Mbps	INBOUND	1 Gbps
	TenGigabitEthernet1/0/1 ····	192.168.99.2 •••		0.04%	354.1 Kbps	L	1.25%	12.5 Mbps	INBOUND	1 Gbps

#### エクスポータまたはインターフェイスが見つからない

テンプレートの検証は、NetFlowデータ処理において非常に重要です。具体的には、エクスポー タから受信したNetFlowテンプレートに、フローコレクタによるデコードと処理を正常に行うた めに必要なすべての必須フィールドが含まれていることを確認します。有効なテンプレートが見 つからないと、関連するフローのセットがデコードから除外され、その結果、フローがインター フェイスのリストから欠落します。

インターフェイスリストに必要なエクスポータまたはインターフェイスが表示されない場合は、 着信netflow data dnテンプレートを確認する必要があります。 NetFlowテンプレートを確認する ために、フローコレクタ側でパケットキャプチャを作成し、エクスポータからIPを指定します。 「x.x.x.x」を変更して、NetFlowを取得します。

- SSHまたはコンソール経由で、rootクレデンシャルを使用してFlow Collectorにログインします。
- ・ 問題のエクスポータのIPポートとNetFlowポートからパケットキャプチャを実行します。

tcpdump -s0 -v -nnn -i eth0 host x.x.x.x and port 2055 -w /lancope/var/admin/tmp/

.pcap

アプライアンスからWiresharkアプリケーションがインストールされているワークステーションにパケットキャプチャをコピーし、任意の方法(SCP、SFTPなど)を使用します。

# Wiresharkでパケットキャプチャを開き、エクスポータがフローコレクタに送信しているテンプレートとデータを確認します

File Edit View Go Capture Analyze Statistics Telephony Wireless Tools Help

m m xx w 🐲				uh:		
Apply a display filter						
Date	Source	Destnation	Protocol	Length	Info	Dat Port
19:35:07.222163	3000C0508	ALC: NO. OF TAXABLE PARTY.	CFLOW	182	total: 3 (v9) records Obs-Domain-ID= 257 [Data-Template:2856] [Option_	
19:35:07.222299	10.00 (j) - 80	34 35 54 St	CFLOW	1416	total: 27 (v9) records Obs-Domain-ID= 257 [Data: 2856]	
19:35:07.222377	10.00.000.000	10.003.007.01	CFLOW	1416	total: 27 (v9) records Obs-Domain-ID= 257 [Data: 2856]	
19:35:07.222385	10.00 (B) (B) (B)	10. INC. 107. INC.	CFLOW	1416	total: 27 (v9) records Obs-Domain-ID= 257 [Data: 2856]	
19:35:07.222388	10.00, 100, M	10.001.047.01	CFLOW	1416	total: 27 (v9) records Obs-Domain-ID= 257 [Data: 2856]	
19:35:07.222462	10.00.000 (10%) (M	10. 000 Add 10.	CFLOW	1416	total: 27 (v9) records Obs-Domain-ID= 257 [Data:2856]	

Frame 1: 182 bytes on wire (1456 bits), 182 bytes captured (1456 bits)	
Ethernet II, Src: Cisco_94:b4:fc (8c:60:4f:94:b4:fc), Dst: Whware_84:49:4f (00:50:56:84:49:4f)	
Internet Protocol Version 4, Src:	
User Datagram Protocol, Src Port: 23384, Dst Port: 2055	
Cisco NetFlow/IPFIX	
Version: 9	
Count: 3	
SysUptime: 6901.205000000 seconds	
D Timestamp: Jul 20, 2021 15:23:50.000000000 Eastern Daylight Time	
FlowSequence: 226153525	
SourceId: 257	
# FlowSet 1 [id+0] (Data Template): 2856	
FlowSet Id: Data Template (V9) (0)	
FlowSet Length: 68	
4 Template (Id = 2856, Count = 15)	
Template Id: 2856	
Field Count: 15	
P Field (1/15): BYTES	
P Field (2/15): PKT5	
P Piela (3/15): OUTPUT SNPP	
P F1414 (4/15): 1P_US1_AD0K	
P Pleta (3/35) 1 SHL_VLAH	
F 1220 (0/35): 17_105	
h State (7/AD), Arve AD	
b Field (015): Field Sec 100	
b state (provide the period	
b Field (11/15) - L4 SDC FORT	
Field (12/15): PROTOCOL	
Field (13/15): FIRST SATIOND	

NetFlowテンプレートが9個の必須フィールドを使用していることを確認します。これらのテンプ レートフィールドの正確な名前はエクスポータのタイプによって異なる可能性があるため、設定 するエクスポータのタイプの詳細については、次のドキュメントを参照してください。

- 送信元 IP アドレス
- 宛先 IP アドレス
- 送信元ポート
- ・宛先ポート
- ・レイヤ4プロトコル
- バイト数
- パケット数
- フロー開始時間
- フロー終了時間

インターフェイスを正しく表示するには、次の項目も追加してください。

インターフェイス出力

◎ インターフェイス入力

次に、特定のエクスポータのデバイスからのテンプレートパケットキャプチャの例を示します

- ・ 赤い矢印:必須のNetFlowフィールド
- 緑色の矢印:SNMPフィールド

```
> User Datagram Protocol, Src Port: 51431, Dst Port: 2055
Cisco NetFlow/IPFIX
    Version: 10
    Length: 120
  > Timestamp: Jun 20, 2023 00:24:38.00000000 CST
    FlowSequence: 41662155
    Observation Domain Id: 256
  v Set 1 [id=2] (Data Template): 260
       FlowSet Id: Data Template (V10 [IPFIX]) (2)
       FlowSet Length: 104
     \vee Template (Id = 260, Count = 24)
         Template Id: 260
         Field Count: 24
       > Field (1/24): IPv4 ID
       > Field (2/24): IP_SRC_ADDR
       > Field (3/24): IP_DST_ADDR
       > Field (4/24): IP_TOS
       > Field (5/24): IP_DSCP
       > Field (6/24): PROTOCOL
       > Field (7/24): IP TTL MINIMUM
       > Field (8/24): IP TTL MAXIMUM
       > Field (9/24): L4_SRC_PORT
       > Field (10/24): L4_DST_PORT
       > Field (11/24): TCP_FLAGS
       > Field (12/24): SRC_AS
       > Field (13/24): IP_SRC_PREFIX
       > Field (14/24): SRC_MASK
       > Field (15/24): INPUT_SNMP
       > Field (16/24): DST_AS
       > Field (17/24): IP_NEXT_HOP
       > Field (18/24): DST_MASK
       > Field (19/24): OUTPUT_SNMP
       > Field (20/24): DIRECTION
       > Field (21/24): BYTES
       > Field (22/24): PKTS
       > Field (23/24): FIRST_SWITCHED
       > Field (24/24): LAST_SWITCHED
```

✤ 注:コマンド例に示されているポートは、エクスポータの設定によって異なる場合があります。デフォルトは2055です

🕦 注:パケットキャプチャは5 ~ 10分で実行してください。エクスポータによってはテンプ

◇ レートをN分ごとに送信できるため、NetFlowが正しくデコードされるようにそのテンプレートをキャッチする必要があります。テンプレートが表示されない場合は、パケットキャプチャをより長い期間繰り返します

#### 接続性の問題

接続の確認:SNA Managerアプライアンスとエクスポータが接続されていることを確認します。 IPアドレスをpingして、StealthWatch管理コンソールからエクスポータにアクセスできることを 確認します。ネットワーク接続の問題がある場合は、トラブルシューティングを行い、状況に応 じて問題を解決します。

エクスポータをポーリングするマネージャ(SMC)の機能を検証

- SSH経由でSNAマネージャに接続し、ルートクレデンシャルでログインします
- /lancope/var/smc/log/smc-configuration.logファイルを分析し、ExporterSnmpSession:

INFO [ExporterSnmpSession] SNMP polling for 10.1.0.253 took 0s INFO [ExporterSnmpSession] SNMP polling for 10.1.0.253 took 0s WARN [ExporterSnmpSession] SNMP polling for 10.10.0.254 failed: java.lang.Exception: timeout INFO [ExporterSnmpSession] SNMP polling for 10.10.0.254 took 20s WARN [ExporterSnmpSession] SNMP polling for 10.10.0.254 failed: java.lang.Exception: timeout INFO [ExporterSnmpSession] SNMP polling for 10.10.0.254 took 20s

このポーリング例では、エクスポータ10.1.0.253に対してエラーは検出されませんでした。
 しかし、エクスポータ10.1.0.254で最初にタイムアウトエラーメッセージが発生し、その後
 20秒の遅延後にポーリング動作を正常に実行することができました。

エクスポータのIPアドレスを使用して、SMCでパケットキャプチャを生成します。

- rootクレデンシャルを使用して、SSHまたはコンソール経由でマネージャノードにログイン します
- 次のコマンドを実行します。 tcpdump -s0 -v -nnn -i [Interface] host [Exporter\_IP\_address] -w /lancope/var/admin/tmp/[file\_name
- 希望する方法(例:SCP、SFTP)でアプライアンスからパケットキャプチャをエクスポートします。
- Wiresharkでパケットキャプチャを開き、ポーリングの成功を確認します



⊸ SMCからの要求:

。インターフェイス情報を含むエクスポータからのSNMP応答:

#### SNMPポーリング設定の検証

ポーリング間隔が適切であり、必要なメトリックがSNMPクエリに含まれていることを確認しま す

- Web UIで、Configure -> Exporters -> Exporter SNMP Profilesの順に選択します。
- 正しいSNMPポート(通常はUDPポート161)と正しいSNMPクエリー方式が選択されていることを確認します。これらは、エクスポータ(ifxTableカラム、CatOS MIB、PanOS

MIB)と適切に一致している必要があります

№ 注:インターフェイスの速度が10 Gbpsの場合は、SNMPクエリー方式にifxTable columnsオプションを選択することをお勧めします。

注:最適なシステムパフォーマンスを得るには、SNMPポーリングを12時間間隔に設定します。ポーリングの頻度を上げても、使用率メトリックが最新の状態になるわけではなく、システムの実行速度が低下する可能性があります。

- SNAとエクスポータの両方で設定されているSNMPバージョンに互換性があることを確認します。SNAはSNMPv1、SNMPv2c、およびSNMPv3をサポートします。SNAで設定されているSNMPバージョンと同じバージョンを使用するようにエクスポータが設定されているかどうかを確認します。
  - SNMPv3を使用する場合は、SNMP設定が正しいことを確認します(ユーザ名、認証 パスワード、認証プロトコル、プライバシーパスワード、プライバシープロトコル)

SNMPポーリングのライブトラブルシューティング

Web UIで、Configure -> Exporters -> Exporter SNMP Profilesの順に選択します。

・ポーリング(分)を一時的に1(分)に設定します。

Exporter Configurations  Exporter StAMP Profiles		
Edit SNMP Profile		Cancel Save
Name * Default SNMP RO	Version 3	SNMP Query Method
Port * 161	Poling (minutes)	
SNMP Security User Name * [admin Authentication Password * Authentication Password * [MAC_NOS	Security Authentication	

- SSHまたはコンソール経由で、rootクレデンシャルを使用してSMCにログインします。
- 次のフォルダに移動します。

cd /lancope/var/smc/log

次のコマンドを実行します。

tail -f smc-configuration.log

• SNMPv3の場合、一般的なエラーメッセージは次のようになります。

failed: java.lang.IllegalArgumentException: USM passphrases must be at least 8 bytes long (RFC3414

- SNMPプロファイルの認証パスワードが8文字以上に設定されていることを確認します。
- ライブトラブルシューティングが終了したら、エクスポータまたはその設定テンプレートの ポーリング(分)設定を以前の値に戻します。

別のデバイスからのSNMPポーリングのテスト

SNMPポーリングのテスト:ローカルマシンから特定のネットワークデバイスへのSNMPポーリ ングを手動で開始し、応答を受信するかどうかを確認します。これは、SNMPポーリングツール またはSNMPwalkなどのユーティリティを使用して実行できます。ネットワークデバイスが要求 されたSNMPデータで応答することを確認します。応答がない場合は、SNMPの設定または接続 に問題があることを示しています。

 SNMPwalkソフトウェアがインストールされているローカルマシンで、エクスポータIPを「 x.x.x.x」に置き換えて、CLIで実行します。

snmpwalk -v2c -c public x.x.x.x

- 。-v2c:使用するSNMPバージョンを指定します。
- 。-c:コミュニティ文字列を設定する

% snmpwalk -v2c -c public 1
SNMPv2-MIB::sysDescr.0 = STRING: Cisco IOS Software [Amsterdam], Virtual XE Software (X86_64_LINUX_IOSD-UNIVERSALK9-M), Version 17.3.4a, RELEASE SOFTWARE (fc3
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2021 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Tue 20-Jul-21 04:
SNMPv2-MIB::sysObjectID.0 = OID: SNMPv2-SMI::enterprises.9.1.1537
DISMAN-EVENT-MIB::sysUpTimeInstance = Timeticks: (373833542) 43 days, 6:25:35.42
SNMPv2-MIB::sysContact.0 =
SNMPv2-MIB::sysName.0 = STRING:
SNMPv2-MIB::sysLocation.0 = STRING: cxlabs
SNMPv2-MIB::sysServices.0 = INTEGER: 78
SNMPv2-MIB::sysORLastChange.0 = Timeticks: (0) 0:00:00.00
IF-MIB:::ifNumber.0 = INTEGER: 10
IF-MIB::ifIndex.1 = INTEGER: 1
IF-MIB::ifIndex.2 = INTEGER: 2
IF-MIB::ifIndex.3 = INTEGER: 3
IF-MIB::ifIndex.4 = INTEGER: 4
IF-MIB::ifIndex.5 = INTEGER: 5
IF-MIB::ifIndex.6 = INTEGER: 6
IF-MIB::ifindex.7 = INTEGER: 7
IF-MIB::ifIndex.8 = INTEGER: 8
IF-MIB::ifIndex.9 = INTEGER: 9
IF-MIB::ifIndex.10 = INTEGER: 10
IF-MIB:::ifDescr.1 = STRING: GigabitEthernet1
IF-MIB::ifDescr.2 = STRING: GigabitEthernet2
IF-MIB:::ifDescr.3 = STRING: GigabitEthernet3
IF-MIB::ifDescr.4 = STRING: GigabitEthernet4
IF-MIB::ifDescr.5 = STRING: GigabitEthernet5
IF-MIB::ifDescr.6 = STRING: VoIP-Null0
IF-MIB::ifDescr.7 = STRING: Null0
IF-MIB::ifDescr.8 = STRING: GigabitEthernet6
IF-MIB::ifDescr.9 = STRING: GigabitEthernet7
IF-MIB::ifDescr.10 = STRING: Tunnel1
IF-MIB::ifType.1 = INTEGER: ethernetCsmacd(6)
IF-MIB::1TType.2 = INTEGER: ethernetCsmacd(6)
IF-MIB::1Tlype.3 = INTEGER: ethernetCsmacd(6)
IF-MIB::1TType.4 = INTEGER: ethernetCsmacd(6)
IF-MIB::1TType.5 = INTEGER: ethernetCsmacd(6)
IF-MIB::ifType.6 = INTEGER: other(1)

• エクスポータがSNMPデータで応答することを確認します。

#### 関連情報

- 詳細については、Technical Assistance Center(TAC)にお問い合わせください。有効なサポ ート契約が必要です。
   各国のシスコ サポートの連絡先.
- ・また、Cisco Security Analytics<u>コミュニティ</u>もご覧ください。
- ・ <u>テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems</u>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。